

＜特集4＞教育委員会とはぐくむ

小学校就学に向けた支援と取組

～すべての子どもたちと保護者が安心して就学できることを目指して～

富良野市教育委員会教育支援課

小学校への入学に向けて、保護者と子どもが安心して準備を進められるように工夫している支援や取組について、富良野市教育委員会にご紹介をいただきました。

1 はじめに

現在、富良野市には、小学校6校、義務教育学校1校があります。児童数は減少傾向にあるものの、学習上・生活上で支援を要する児童が増加傾向にあることから、教育委員会が主体となり、関係機関との連携の下、適切な就学の場や悩みを抱える保護者を支えるための取組を進めています。

2 「子ども支援ガイドブック」の作成・配付について

保護者が、本市における就学までの流れ（図1）、子どもの教育的ニーズに応じた就学の場や就学前後における支援等について理解できるよう、「子ども支援ガイドブック」（図2）を作成し、毎年4月に各幼稚園・保育所を通じて、年長児の保護者へ配付しています。

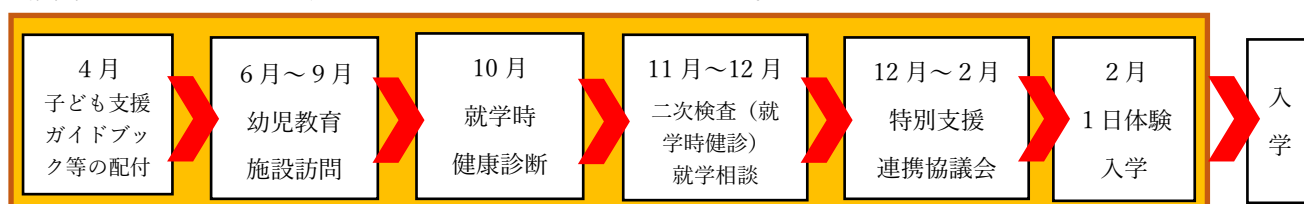


図1 [富良野市における就学の流れ]

就学時健康診断の前には、市内の小学校の特別支援教育コーディネーターが幼稚園・保育所を訪問し、一人一人の状況や発達段階等について、担当者と共有しています。

また、児童発達支援機関を利用している幼児については、4月に就学説明会を実施するとともに、保護者の希望に応じて、随時発達検査や構音検査、保護者による就学先の見学（通常の学級、特別支援学級、通級指導教室）を実施し、在籍等の早期決定を検討します。

3 富良野市特別支援連携協議会について

本市では、教育委員会や各小・中学校、市の関係部署や幼稚園・保育所、高等学校や医療機関等と連携し、「富良野市特別支援連携協議会」を構成し、就学の場を検討する教育支援委員会の開催や就学前後の支援等を実施する専門家チーム派遣を行っています。



図2 [子ども支援ガイドブック]

「専門家チーム」は、学校管理職、小・中学校の特別支援教育コーディネーター、医療機関や児童発達支援機関、心理士等で構成されており、保護者等の教育的ニーズに合わせて幼稚園や保育所へ訪問し、就学前の教育相談や発達検査の実施、就学後に必要な支援策等の検討を行います。

また、特別支援連携協議会内に「コーディネーター連絡会」を位置付け、特別支援教育コーディネーターの資質向上に向けた研修会を実施するなど、各校の支援体制強化や適切な支援策の検討につなげています。(図3)

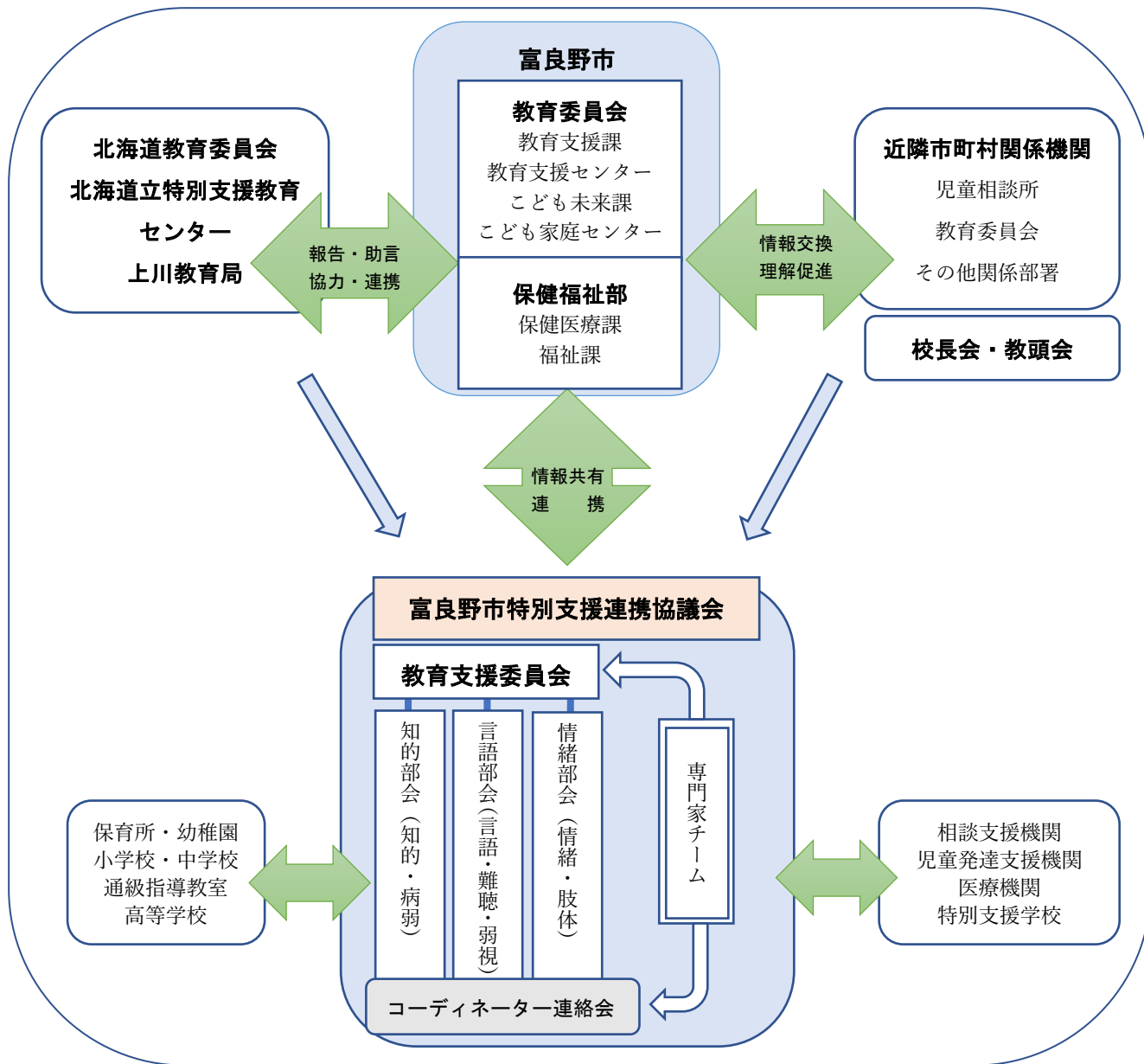


図3 [富良野市特別支援連携協議会の関連図]

4 おわりに

今後は、本市の特別支援教育の方向性と重点施策を示す「特別支援教育マスタープラン」を改定し、全ての幼児が誰一人取り残されず、就学後に適切な支援を受けられるよう、学校及び関係機関との連携強化を進め、本市における特別支援教育の一層の充実を図っていきます。